



バトンをつなぐ

教 頭 塚本 展寛

10月21日（火）から23日（木）までの三日間、5年生は、福島県南会津郡南会津町（旧館岩村）にあるさいたま市立館岩少年自然の家で、「自然の教室」を実施しました。今回の5年生の子どもたちが考えたスローガンは、「チーム岸町 力を合わせて進化せよ！～仲間と挑む成長の旅～」です。三日目の退所式で、「スローガンを最も達成できたと感じるプログラムは？」と聞くと、野外炊飯に挙手をしたお子さんが最も多くいました。5年生の子どもたちには、この「自然の教室」で身に付けた力を今後の学校生活でぜひ生かしてほしいと思います。御支援くださった保護者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

ところで、「自然の教室」には、「自然に触れ、自然に学び、自然で鍛える」という基本理念や「自然の家で三日間過ごせば、子どもは変わる」等の大切にされてきた言葉がいくつかあります。その中の一つとして、「感謝のバトンをつなぐ」という言葉があります。三日間お世話になった自然の家に対し、「来た時よりも美しく」の精神で、「次に利用する学校のため」「来年の岸町小学校の5年生のため」「今後、『自然の教室』を実施する全てのさいたま市の子どもたちのため」に、感謝の連鎖を生み出す行動をしていこう、という考え方です。

そのために、「自然の教室」では、開所当時から40数年の歴史がある、緑の体験活動というプログラムが三日目に設定されています。その内容としては、施設内を綺麗にしたり敷地内の自然環境を整えたりする様々な奉仕活動です。本校は、クラスごとに分かれ、たい肥づくりのための落ち葉拾いを行いました。子どもたちは、三日間お世話になった館岩少年自然の家の環境をよりよくしようと、二つの大きなたい肥入れがあふれんばかりに落ち葉を集め、一生懸命取り組んでいました。ここで作られたたい肥を利用し、次年度以降も豊かな自然環境がつくられることと思います。

本校においても、「率先垂範」という大切にしている理念があります。当たり前のことを当たり前に行い、自分がよいと思うことを進んで行う子どもたちを育成する環境づくりにおいて、教職員は勿論、子どもたち一人ひとりが互いのロールモデルとなることは非常に大切です。今後も「小さなよき社会人」の育成を目指し、学級内、学級間、学年間で「率先垂範」のバトンをつなげられるよう、教育活動に邁進してまいります。

